

都立光丘高等学校 令和8年度(3学年)教科

公民 科目 政治経済

教科: 公民

科目: 政治経済

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 6組

使用教科書: 「最新政治・経済」実教出版

教科 公民

の目標:

【知識及び技能】

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

科目 政治経済

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 国際政治と国際法の意義、国際連合の成立と活動について学習し、国際政治と日本の関係について考える。 前提となる歴史総合の学習内容についても、十分復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 第1編 現代の国際政治 1章 国際政治の動向と課題 国際社会と国際法 国際連合と国際協力 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 国際連合の専門機関などの活動が、人類の福祉に大きな貢献をしてきたこと、国際連合による平和維持活動が世界の平和に大きく寄与していることについて理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。 	○	○		13
	<ul style="list-style-type: none"> 東西冷戦終結後の国際政治について学習し、国際政治と日本の関係について考える。 軍事力や力の政治による国際問題の最終的解決は不可能であり、国連をはじめとする多国間での協議の必要性が高まっていることを理解させる。 前提となる歴史総合の学習内容についても、十分復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 第1編 現代の国際政治 1章 国際政治の動向と課題 こんにちの国際政治 人種・民族問題 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 冷戦構造の概要について理解している。 冷戦終結後に生じた国際政治上の力学変化について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 冷戦終結後に地域・民族紛争が多発したことについて、その要因を多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代国際政治の動向について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	10
	<ul style="list-style-type: none"> 核軍縮や管理について学習し、国際政治と日本の関係について考える。 軍事力や力の政治による国際問題の最終的解決は不可能であり、国連をはじめとする多国間での協議の必要性が高まっていることを理解させる。 前提となる歴史総合の学習内容についても、十分復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 第1編 現代の国際政治 1章 国際政治の動向と課題 軍拡競争から軍縮へ 日本の外交と国際社会での役割 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 NPTに参加しない国があることや、CTBTの発効の見通しが立たない状況など、核廃絶に向けて課題が残されていることを理解している。 核兵器禁止条約の歴史的意義について理解するとともに、核保有国や日本が参加していない理由や課題についても理解している。 【思考・判断・表現】 安全保障のジレンマを乗り越えて軍縮を進めていくためには何が必要となされるか、考察を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 核兵器と軍縮について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	3
定期考査			○	○		1	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 比較生産費説と国際分業の利益については、具体例と演習問題を通じて十分に理解させる。 国際収支表によって、日本の貿易・投資がどのように変化しているかを理解させる。 円高と円安が日本経済に及ぼす影響について、具体的な貿易を想定して理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 第2編 現代の国際経済 1章 世界経済理論 貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 貿易が、国際分業と交換から成り立っていることへの理解を基に、現在の世界及び日本の貿易の現状と動向について、具体的事例や客観的な資料を基に理解している。 国際収支の考え方を理解している。また、日本の国際収支表を見て、時代に追って貿易のあり方にどのような特徴があったかを読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 日本経済にとって、円高傾向がよいのか円安傾向がよいのかについて、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 株式ゲームを通して、企業の動向に意欲的に関心をもって取り組んでいる。 	○	○	○	6
	<ul style="list-style-type: none"> 通貨や貿易体制の枠組みを規定したIMF・GATT体制と、その変容の歴史を理解する。 二国間交渉が進められている一方、旧来の多角交渉も継続されていることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 第2編 現代の国際経済 2章 国際経済の動向と課題 第二次世界大戦後の国際経済 新興国の台頭 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 IMFとGATTに代表される国際経済体制について、その概要を理解している。 南北問題の背景と現状について理解している。 資源産出国が自国の権益を保護しようとした歴史的な経過について理解している。 【思考・判断・表現】 ブロック経済が世界貿易の停滞を招いたのはなぜか、多面的・多角的に考察している。 ドーハラウンドにおける協議がなぜ停滞しているのか、多面的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 フェアトレードについて関心をもって調べ、自分の考えをもっている。 	○	○	○	12
	<ul style="list-style-type: none"> 経済のグローバル化がもたらしたメリットとデメリットを、それぞれ理解させる。 国際的な資本取引の規制やデジタル課税の動向など、最新事象についても補足して理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 第2編 現代の国際経済 2章 国際経済の動向と課題 経済のグローバル化とICTにかかわる世界経済 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 金融のグローバル化の結果、資本の国際取引が活発になったが、その一方で投機的資金の移動が実体経済を脅かすこともあることを理解している。 【思考・判断・表現】 国際的な資本取引に対する金融規制をどう考えるかについて、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化と世界金融について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化する国際社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめさせる。 グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 第3編 国際社会における諸課題の探究 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 グローバル化する国際社会の諸課題について、必要な知識を習得している。 【思考・判断・表現】 グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化する国際社会の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決し、自分事として捉え 	○	○	○	14
			○	○	○	合計 70	